

(Hanergy Thin Film Power Group) は年産3GWの工場建設を進めている。漢能集団傘下の河北曹妃甸漢能光伏（河北省唐山市）は、第1期（0.6GW）が今年末までに稼動し、第2期（2.4GW）が来年末までの稼動を予定している。漢能はCIGS系太陽電池の関連企業を矢継ぎ早に買収しており、12年6月にQセルズ傘下のドイツ Solibro、13年1月にアメリカ MiaSolé、同8月にアメリカ Global Solar Energy を傘下に収めた。第1期の2本のライン（各0.3GW）は、Solibro と MiaSolé の技術をそれぞれ用いた。Solibro の変換効率（1cm²）は今年4月に20.5%に達するなど、技術開発も進めている。

将来的には9GW超まで拡張する計画とされ、1GW当りで20～30tの地金が必要とすると、仮に実現すれば200t規模の地金を必要とする（少なくとも半分程度がリサイクルできる）。

CIGS系はSi結晶系の供給過剰と相場低迷で撤退相次ぐ

一方で、シリコン結晶系太陽電池の供給過剰と相場低迷にくわえ、日本政府がメガソーラー（大規模発電所）への優遇策見直しを表明するなど不透明感が増している。中国企業の新規参入が相次いだことから、多結晶シリコンと結晶シリコン系太陽電池の世界需給はいずれも大幅な供給過剰を陥っている。CIGS系太陽電池の新規参入企業が採算性を維持することは難しいとされ、サムソンをはじめ多くの企業が事業化を断念してきた。

大口需要家の調達価格はタイト感薄れLMB下値割込む

インジウムの国際相場は年初から値上がりし、3月下旬に730～780ドルに達した後にはわずかに調整し、6月下旬に670～730ドルへと下落した。7月以降は中値で700ドル台を維持しながら、ほぼ横ばいを続けている。西側生産者の増産により、中国外需給のタイト感が薄れたことから、大口需要家の調達価格はLMBの下値を割り込んでいる。来年末までは供給過剰を続けるとの見方から、一部の生産者は手持ち在庫を減らすべく、中国市場に販売している。

金属レアアース 9月の輸入価格も調整局面続く

金属レアアースの今年9月の輸入価格（CIF日本）は、セリウムやサマリウム、ジスプロシウムが前年比で値下りするなど、調整局面から脱していない。サマリウムは28ドル/kgで前月比3%値下りし、ジスプロシウムは463ドルで同3%値下り。相場は、中国の国家備蓄などの影響から今年2月頃にいったん下げ止まりをみせたものの、春先か

金属レアアースの輸入価格推移（USD/kg, CIF日本）

	2014年					前月比 (%)
	5月	6月	7月	8月	9月	
ランタン	11	11	10.5	10.5	10.5	0
セリウム	14	14	13.5	12.5	12.0	-4
プラセオジウム	170	170	160	160	160	0
ネオジウム	92	90	88	88	88	0
ジジウム	92	90	90	90	90	0
サマリウム	36	33	31	29	28	-3
テルビウム	1,000	980	910	870	870	0
ジスプロシウム	575	544	500	475	463	-3
イットリウム	60	60	60	60	60	0

(出所) 業界関連企業

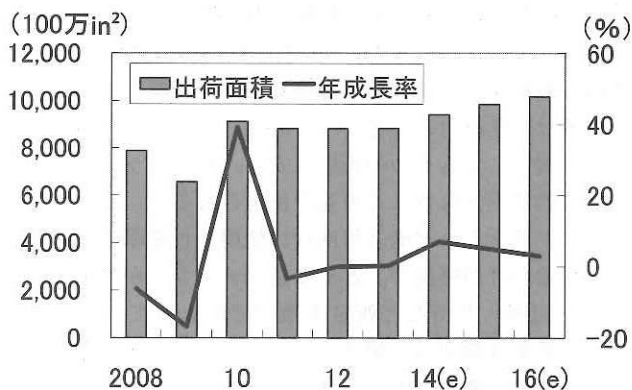
(注) ジスプロシウム (DyFe) は Dy 純分ベースの価格

シリコンウエーハ 14年は94億in²で4年ぶり過去最高へ

シリコンウエーハの世界出荷面積（鏡面ウエーハとエビタキシャルウエーハ、ノンポリリッシュドウエーハの合計。太陽電池用シリコンは含まない）は、半導体などの業界団体 SEMI の予測によると、今年から16年まで3年連続で過去最高を更新し成長軌道に戻るとみられている。14年の出荷量は94.1億in²で前年比7%増え、15年が98.4億in²で同5%増え、16年が101.63億in²で同3%増と、成長率は年々低下するものの、初の100億in²台に達する。第3四半期（7～9月）までの実績がピークの10年を上回っていることから、14～16年は過去最高を続け、「4度目の正直」になると期待されている。

シリコンウエーハの世界出荷は10年にピークの91.21億in²を記録して以降、11～13年は世界経済の減速感やパソコン離れなどの影響から88億in²台で横ばいを続けてきた。SEMI が例年10月に発表する予測では「今年か来年には過去最高を更新」という楽観的な見方を打出しながら、第4四半期（10～12月）に予想以上に失速し、3年連続で予測を外してきた。

シリコンウエーハの世界出荷予測（2014年～16年は予測。SEMI）



ら再び調整局面に陥り、じりじりと値を下げている (Lynas の関連記事は P.8)。

メタルページセミナー 11月6～7日/東京・一ツ橋

エネルギーを中心とした商品情報大手のアーガス・メディアグループの日本支局は、11月6日(木)～7日(金)に東京・一ツ橋の「TKP ガーデンシティ竹橋」(東京都千代田区一ツ橋1-2-2)でメタルページ代表 Nigel Tunna 氏によるセミナーを開催する。メタルページはレアメタルなどの価格情報を扱ってきたが、今年5月にアーガス・メディアグループの傘下に入った。今回のセミナーではスペシャルメタル、レアアース、鉄鋼原料、軽金属の4つを扱う。6日午後1時半～3時半のレアアースのセッションでは、レアメタル商社マテリアル・トレーディング・カンパニー社長の小滝秀明氏がパネリストとして参加し、ディスカッションも行う（参加費は無料で、セミナーは英語で実施）。

○スペシャルメタル：6日午前10時～12時 ○レアアース：6日午後1時半～3時半 ○鉄鋼原料：7日午前10時～12時 ○軽金属：6日午後1時半～3時半

申込み・問合せ：TEL (03-3561-1806) URL (<http://www.argusmedia.jp/Events/Japan-events/ArgusMPseminar112014>)